

23 歳 男性

H27.10.2～H27.12.19 入院

最重症アトピー性皮膚炎だが脱ステロイド達成

母親は軽症アトピー性皮膚炎。本人は小学3年の頃から四肢屈曲部にアトピー性皮膚炎が生じた。

中学以降、全身性に拡大し、近医にて入院治療後ステロイド外用治療を定期的に行っていた。

H27.春就職したが、多忙と発汗によりアトピー性皮膚炎が悪化。抗アレルギー剤内服、外用ステロイド強化を試みるも改善なし。

病院を変え、脱ステロイドを試みるもリバウンドが強く、就労・日常生活も困難となった。

知人から当院のホームページを紹介され受診、入院治療を行った。バチルス入浴を中心に非ステロイド非プロトピック療法を行った。

口周りから頸部のヘルペス感染（カポジ）と、顔面頸部に多量の滲出液を伴う強い皮膚炎があり、全身の湿疹・発赤・強い痒みが見られた。

体動時の皮膚のヒキツレによる痛みは1ヶ月近く続いた。しかし、2ヵ月後には皮膚炎の指標である TARC は 27902→568 と一気に約 1/50 の値までに下がり、それに伴い皮膚もみるみるうちに正常皮膚へと近づいて行った。退院時にはまるで2ヵ月半前が信じられないくらいきれいな皮膚となり、退院後は自宅にてバチルス入浴ケアを継続している。

| | 基準値 | 2015/10/3 | 2015/11/2 | 2015/12/2 | 2015/12/16 |
|---------------------|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| TARC | 450 以下 | 27902 | 20607 | 568 | 590 |
| LDH | 120～245 | 505 | 329 | 215 | 224 |
| IgE | 170 以下 | 20474 | 19104 | 15348 | 13547 |
| 好酸球 | 7%以下 | 3% | 14.2% | 8.9% | 8.4% |
| POEM(自覚症) (0～28) | 最重症者(20～28) | 28 | 15 | 10 | 5 |



2015.10.2



2015.12.19



2015.10.2



2015.12.19